

景気動向調査結果

(平成24年7月分)

長野県商工労働部

この調査は、県内企業 900 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業 600 社）を対象に、平成 24 年 7 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 24 年 8 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査からは、従来の「製造業」に、「建設業」、「情報サービス業」、「小売業・卸売業」、「飲食業・宿泊業」も加えて実施しております。

回答企業数は、565 社（製造業 252 社（うち面接 65 社）、建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業 313 社）で、回答率は 62.8 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

〔URL <http://www.pref.nagano.lg.jp/syokou/sinkou/keiki/keikidoukou.htm> 〕

お問い合わせ先：製造業について

長野県商工労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業について

長野県商工労働部経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

7月の景気動向

1 総論

県内企業の業況感は、持ち直しの動きがみられるものの、海外景気の下振れなどにより、その動きは鈍化しています。

製造業では、環境対応車の販売増加に伴い、自動車部品などで堅調に推移しているものの、電機・電子で海外需要の減少により受注、生産の減少がみられました。

非製造業では、ソフトウェア関連でスマートフォン向けなどの需要が堅調に推移しているものの、個人消費が弱含んでいることを背景に売上高、客数などが減少しています。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（23年7月）と比べたD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差、%）は、 $\Delta 30.3$ となり前回調査時（24年4月）の $\Delta 14.4$ より15.9ポイント悪化し、6期連続のマイナスとなりました。

また、3か月前と比べたD Iは、 $\Delta 16.1$ となり前回調査時の3か月後の予想値 $\Delta 2.2$ より13.9ポイント悪化し、4期連続のマイナスとなりました。

なお、3か月後の予想では、新興国等を始めとした海外需要の拡大や国内需要の持ち直しへの期待感があるものの、円高に伴う景気の先行き不安や海外景気の下振れ懸念、国経済対策の一部終了の見通しなどを背景に、D Iは $\Delta 17.9$ となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン関連は、受注、生産の回復がみられるものの、製品価格が下落しています。プリンターは、アジア地域を中心とした海外需要の増勢の鈍化により、受注、生産に一服感がみられるほか、円高の影響による収益率の低下がみられます。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、海外需要の減少により、受注、生産が減少しています。

イ 一般機械では、工作機械は、自動車関連向けで環境対応車の販売増加やアジア地域を中心とした海外需要の増加に伴い、受注、生産の増加がみられます。半導体関連向けは、一部に需要の増加がみられるものの、設備投資が抑制傾向にあり、受注、生産が弱含んでいます。建設機械は、国内向けで復興需要により、受注、生産の増加がみられるほか、海外向けで、需要の増加により、受注、生産が増加しています。

ウ 精密では、時計は、高価格帯製品の需要の増加により、受注、生産が増加しています。レンズは、プロジェクター向けで欧米を中心とした海外需要の減少により、受注、生産の減少がみられるものの、工業用レンズでは受注、生産の持ち直しがみられます。計器は、圧力計で、産業機械関連を中心に、受注、生産が減少しています。

エ 自動車部品では、環境対応車の販売増加に伴い、堅調に推移しているものの、国経済対策の一部終了に向けて、一部に受注、生産の減少がみられます。

オ 食料品では、味そは、需要が減少する夏季を迎え、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。酒類は、一部に受注、生産の増加がみられるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。飲料は、季節的要因や一部製品の需要の増加により、受注、生産の増加がみられます。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が20.6%と前回(30.3%)より減少し、「減少」とする企業が50.2%と前回(47.4%)より増加した結果、D Iは前回(△17.1)より悪化し、△29.6となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が18.1%と前回(26.7%)より減少し、「減少」とする企業が34.9%と前回(29.8%)より増加した結果、D Iは前回(△3.1)より悪化し、△16.8となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が15.6%、「減少」とする企業が34.0%となった結果、D Iは△18.4となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が22.4%と前回(30.1%)より減少し、「減少」とする企業が50.6%と前回(46.3%)より増加した結果、D Iは前回(△16.2)より悪化し、△28.2となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が17.8%と前回(27.1%)より減少し、「減少」とする企業も33.6%と前回(34.9%)より減少した結果、D Iは前回(△7.8)より大幅に悪化し、△15.8となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が14.3%、「減少」とする企業が35.7%となった結果、D Iは△21.4となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が5.7%と前回(6.6%)よりやや減少し、「安い」とする企業が42.5%と前回(38.9%)より増加した結果、D Iは前回(△32.3)より悪化し、△36.8となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が2.4%と前回(6.2%)より大幅に減少し、「安い」とする企業が24.7%と前回(20.8%)より増加した結果、D Iは前回(△14.6)より悪化し、△22.3となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が2.0%、「安い」とする企業が23.4%となった結果、D Iは△21.4となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が8.9%と前回(12.8%)より減少し、「苦しい」とする企業が22.5%と前回(22.9%)とほぼ同じとなった結果、D Iは前回(△10.1)より悪化し、△13.6となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が7.1%と前回(9.6%)より減少し、「苦しい」とする企業が19.3%と前回(16.9%)より増加した結果、D Iは前回(△7.3)より悪化し、△12.2となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が4.3%、「苦しい」とする企業が18.8%となった結果、D Iは△14.5となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が15.4%と前回(16.7%)より減少し、「低下」とする企業が54.3%と前回(48.7%)より増加した結果、D Iは前回(△32.0)より悪化し、△38.9となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が10.9%と前回(12.2%)より減少し、「低下」とする企業が38.1%と前回(36.2%)より増加した結果、D Iは前回(△24.0)より悪化し、△27.2となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が9.4%、「低下」とする企業が31.6%となった結果、D Iは△22.2となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコン関連は、受注、生産の回復がみられるものの、製品価格が下落しています。プリンターは、アジア地域を中心とした海外需要の増勢の鈍化により、受注、生産に一服感がみられるほか、円高の影響による収益率の低下がみられます。

(半導体関連) 産業用途の一部や環境対応車向けで、需要の回復により、受注、生産が持ち直しているものの、デジタル家電向けでは、需要の減少により、受注、生産が減少しています。

(プリント基板) 産業用途は、海外需要の減少により、受注、生産が減少しています。スマートフォン向けは、受注、生産に一服感がみられるほか、円高の影響や製品価格下落に伴う収益率の低下もみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) デジタル家電向けで、需要の減少により、受注、生産が減少しているものの、自動車関連向けでは、環境対応車の販売増加に伴い、受注、生産の増加がみられます。

(モーター等) 自動車関連向けで、環境対応車の販売増加に伴い、受注、生産が増加しているものの、産業用途では、海外需要の減少により、受注、生産が弱含んでいます。家電向けの一部では、省エネ家電製品の販売増加に伴い、受注、生産の持ち直しがみられます。

(その他) カーナビゲーションは、受注、生産が引き続き増加しています。電源関連は、受注、生産が弱含んでいるほか、製品価格下落に伴う収益率の低下もみられます。

一般機械

(工作機械) 自動車関連向けは、環境対応車の販売増加やアジア地域を中心とした海外需要の増加に伴い、受注、生産の増加がみられます。半導体関連向けは、一部に需要の増加がみられるものの、設備投資が抑制傾向にあり、受注、生産が弱含んでいます。

(金型) 自動車関連向けは、受注、生産が低調に推移しているほか、価格競争激化による収益率の低下もみられます。

(建設機械) 国内向けで、復興需要により、受注、生産の増加がみられるほか、海外向けで、需要の増加により、受注、生産が増加しています。

(農業用機械)	農業用機械は、需要期を過ぎたことにより、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。芝刈り機や小型ディーゼルエンジンは、受注、生産が減少しているほか、円高の影響により収益率が低下しています。
精 密	
(時計)	腕時計は、高価格帯製品の需要の増加により、受注、生産が増加しています。
(レンズ)	プロジェクター向けで、欧米を中心とした海外需要の減少により、受注、生産の減少がみられるものの、工業用レンズでは、受注、生産の持ち直しがみられます。
(計器)	圧力計は、産業機械関連を中心に、受注、生産が減少しています。LPガスメーターは、季節的要因により、受注、生産が引き続き増加しています。
自動車部品	環境対応車の販売増加に伴い、堅調に推移しているものの、国経済対策の一部終了に向けて、一部に受注、生産の減少がみられます。
食料品	
(味そ)	需要が減少する夏季を迎え、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。
(酒類)	清酒、ワインは、一部に受注、生産の増加がみられるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。
(飲料)	季節的要因や一部製品の需要の増加により、受注、生産の増加がみられます。
繊維・衣服	ワイシャツは、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。
紙・パルプ	ダンボールは、青果物向けで、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産の増加がみられます。
印刷	印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しています。
その他	工業用プラスチックは、エコ関連やスマートフォン向けで、受注、生産の増加がみられます。

3 非製造業

(1) 業界の業況

非製造業のD Iは、売上高や客数（受注件数）の増加がみられることから情報サービス業は改善しましたが、建設業、卸売業・小売業及び飲食業・宿泊業は悪化しました。

前年同期（23年7月）と比べたD Iは、 $\Delta 36.6$ となり前回調査時（24年4月）の $\Delta 20.1$ より16.5ポイント悪化しています。

また、3か月前と比べたD Iは、 $\Delta 29.5$ となり前回調査時の3か月後の予想値 $\Delta 26.1$ より3.4ポイント悪化しています。

なお、3か月後の予想では、景気の先行きに対する不透明感などを背景に、D Iは $\Delta 31.9$ となりました。

(2) 各業界の動き

ア 建設業

建設業の業況感は、D Iが $\Delta 36.8$ と前回（ $\Delta 26.5$ ）より悪化しました。

公共工事は引き続き厳しい受注環境にあります。受注機会を拡大するため技術力の向上などに取り組む企業がみられます。取引先企業等の設備投資が低調であることや事業者間の価格競争などにより、販売価格は低迷しています。

イ 情報サービス業

情報サービス業の業況感は、D Iが25.0と前回（ $\Delta 14.3$ ）より大幅に改善しました。

ソフトウェア関連では、タブレット型端末やスマートフォンなどの需要が堅調に推移しており、売上高、客数（受注件数）はともに前年同期を上回る企業の割合が増加しています。

業務用システム関連では、製造業や小売業等からの受注が増加し、販売価格、収益率はともに前年同期を上回る企業の割合が増えています。

ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業の業況感は、D Iが $\Delta 38.4$ と前回（ $\Delta 22.5$ ）より悪化しました。

小売業では、昨年の地上デジタル放送移行に伴うテレビの買い替え需要の反動などにより、売上高、客数はともに前年同期を下回る企業の割合が増加しています。

卸売業では、取引先の減少や消費者の購買意欲が慎重であることなどにより、売上高、客数はともに前年同期を下回る企業の割合が増加しました。

エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業の業況感は、D Iが $\Delta 39.4$ と前回（ $\Delta 2.3$ ）より悪化しました。

飲食業では、外食機会の減少や大手チェーン店等の新規店舗進出による事業者間の競争などにより売上高、客数はともに前年同期を下回る企業の割合が増加しています。

宿泊業では、インターネットからの予約などによる個人客数は堅調に推移しているものの、団体客数の低迷などにより売上高、客数はともに前年同期を下回る企業の割合が増加しています。

※ 平成23年度の調査から、従来の「製造業」に、「建設業」、「情報サービス業」、「小売業・卸売業」、「飲食業・宿泊業」を加えて実施しています。

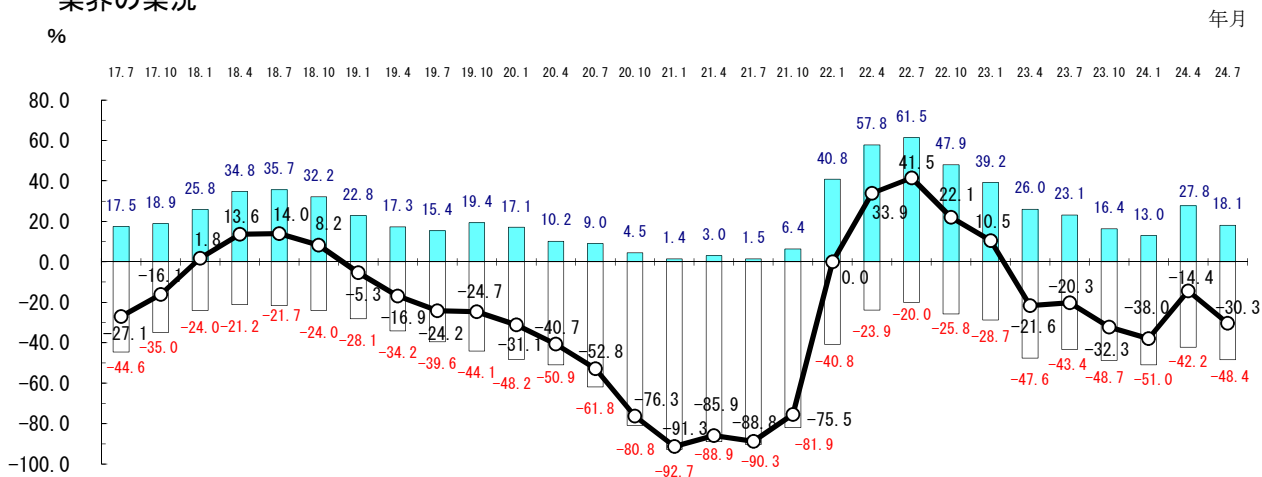
景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下)の企業の割合です。
折れ線グラフ(DI)は好転(増加、上昇)の企業の割合から悪化(減少、低下)の企業の割合を引いた差です。

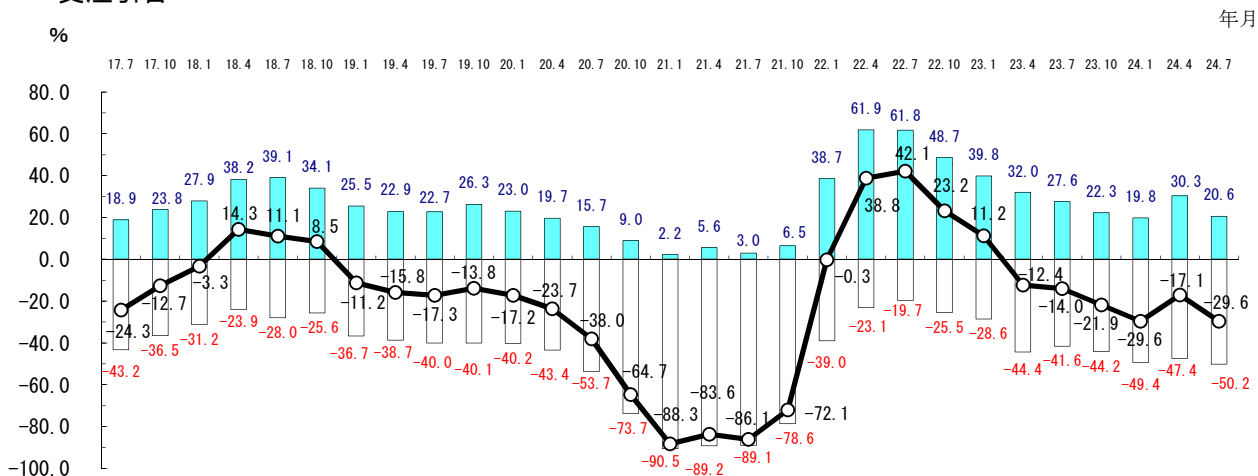
1 製造業

(1) 全業種 前年同期に比べて

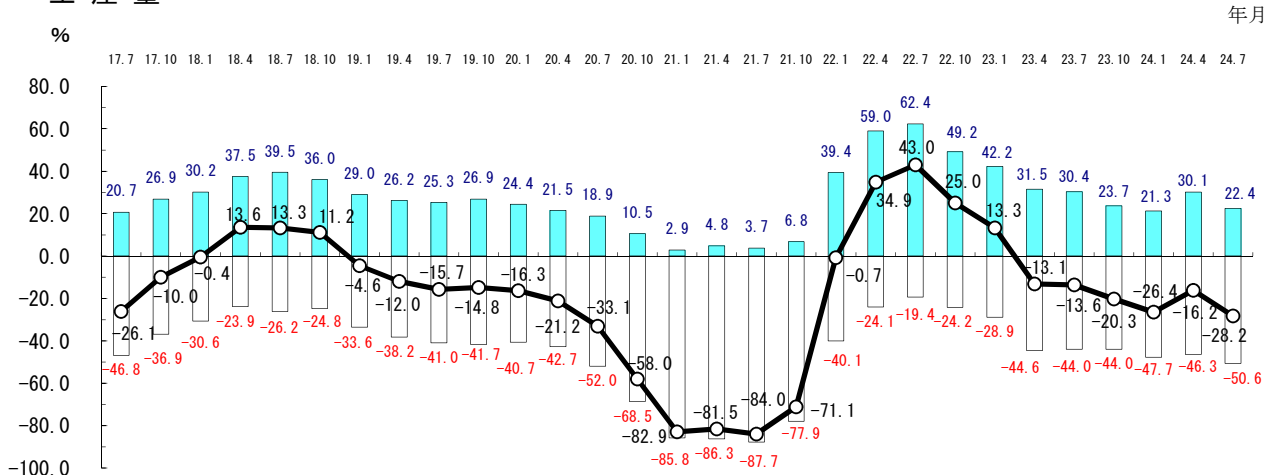
業界の業況



受注引合

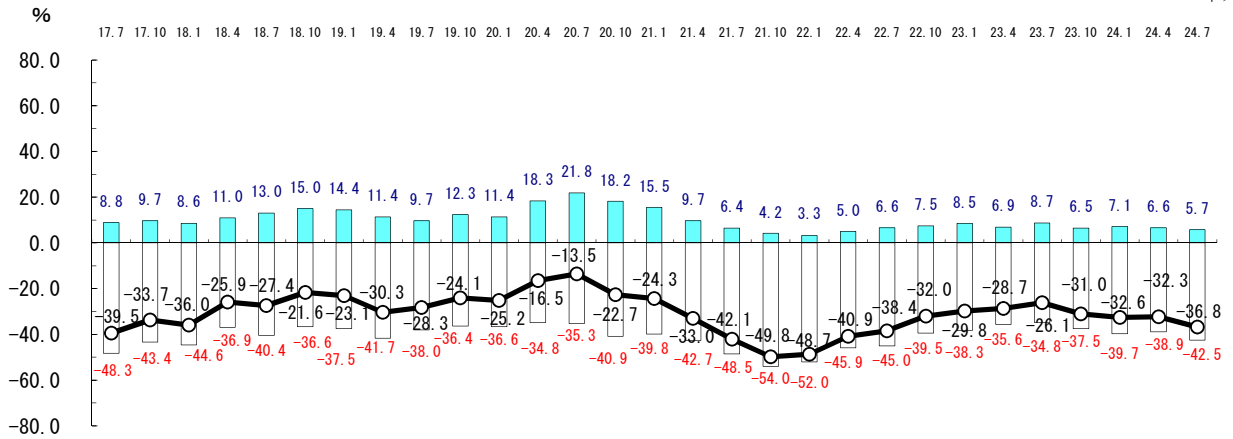


生産量



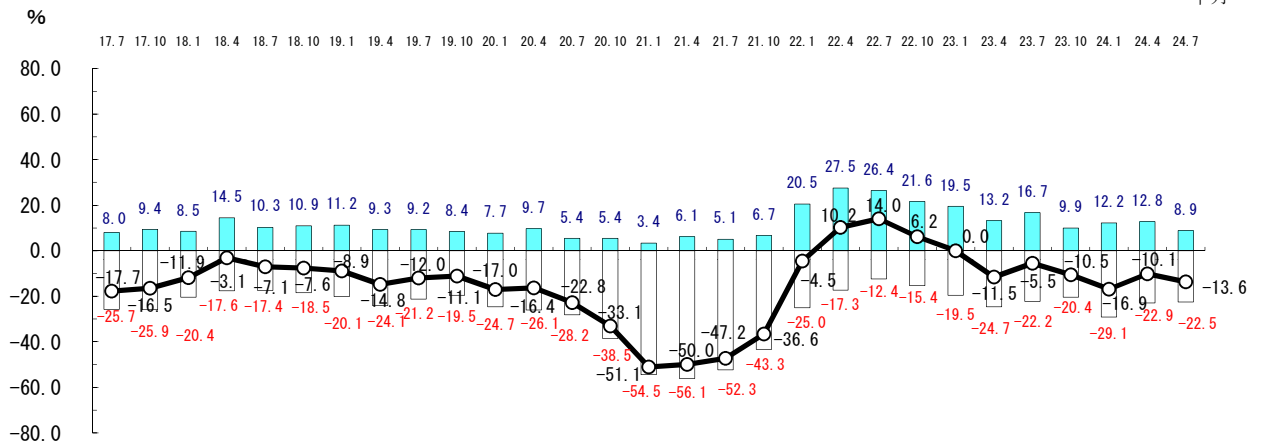
製品販売価格

年月



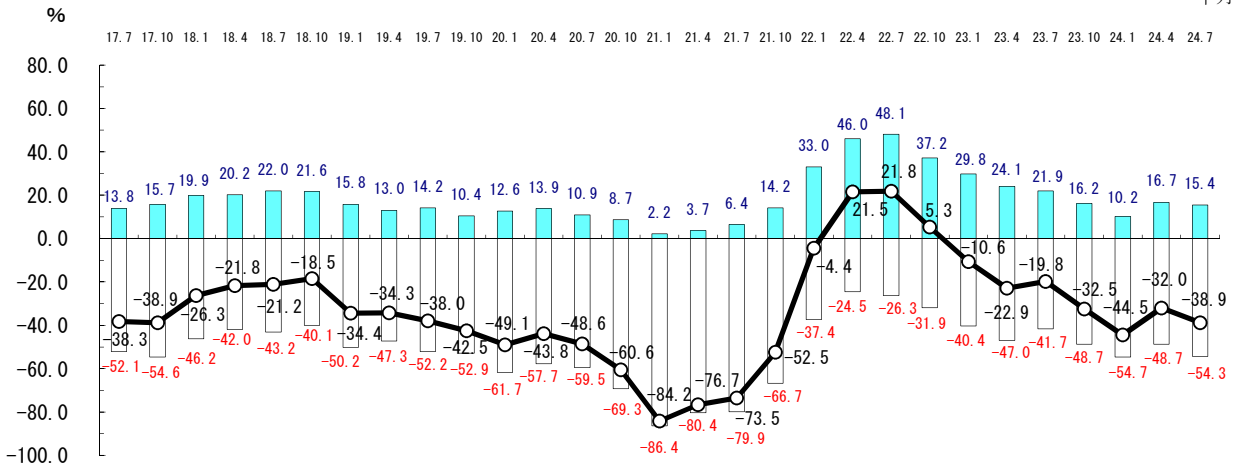
資金繰り

年月



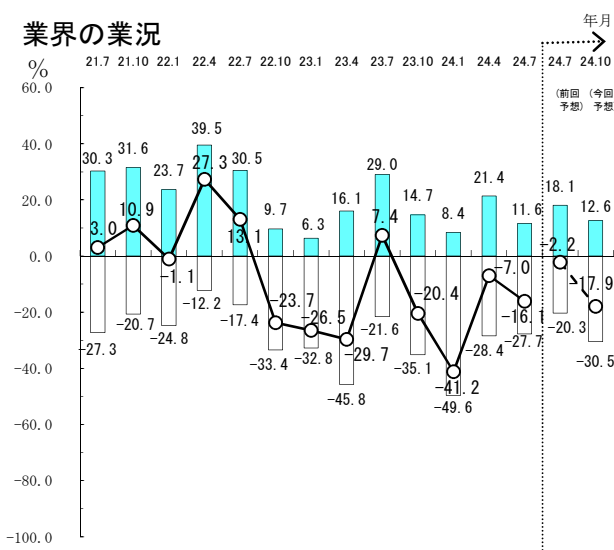
収益率

年月

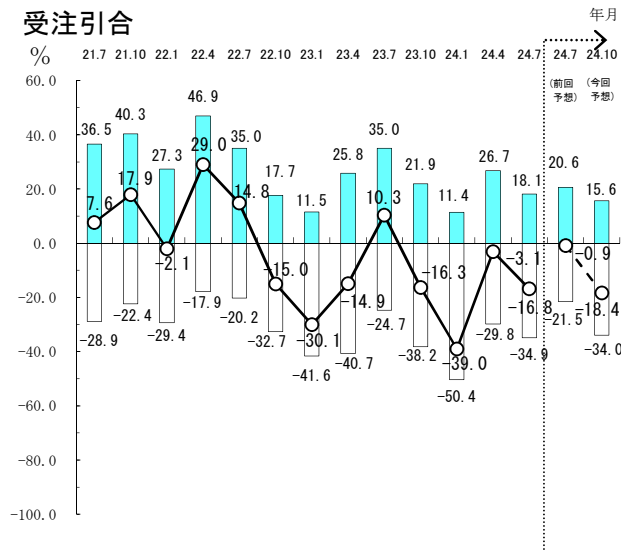


(2) 全業種 3か月前に比べて及び3か月後の予想

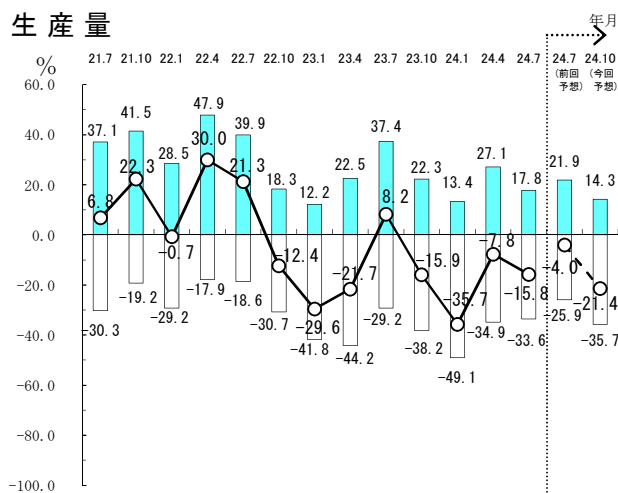
業界の業況



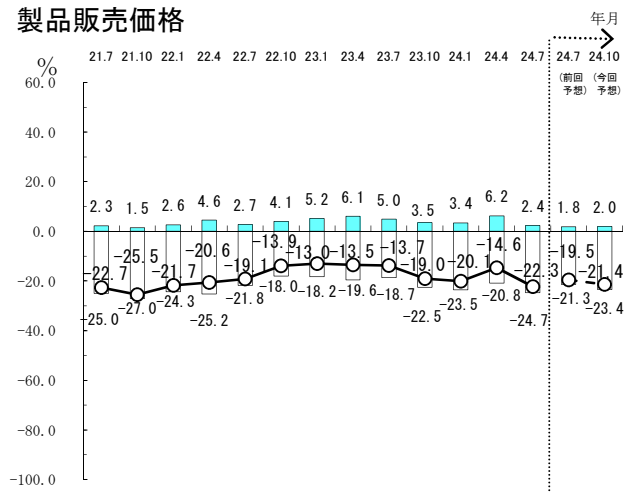
受注引合



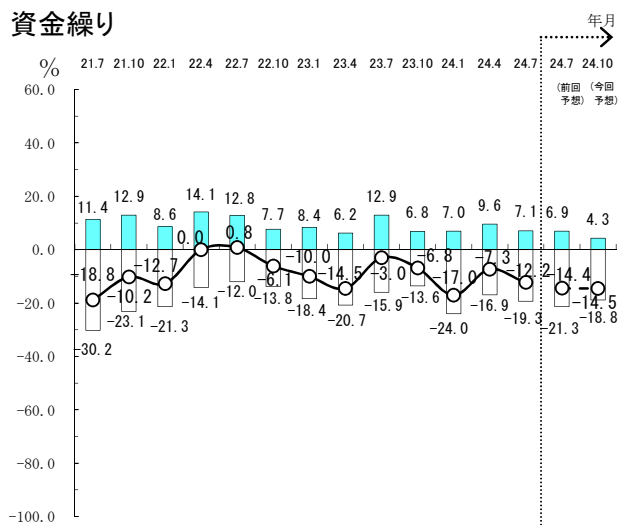
生産量



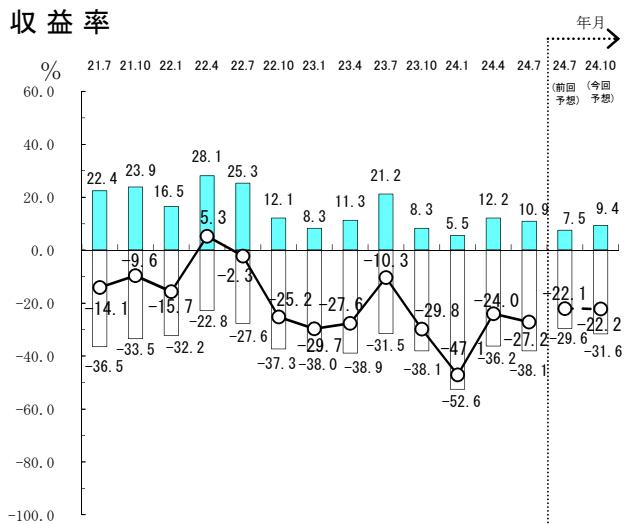
製品販売価格



資金繰り



収益率

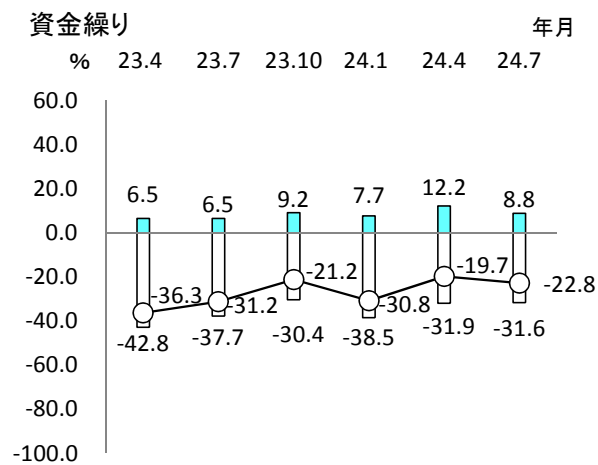
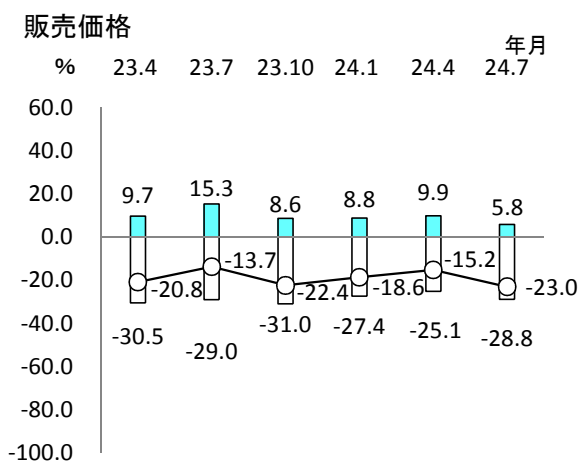
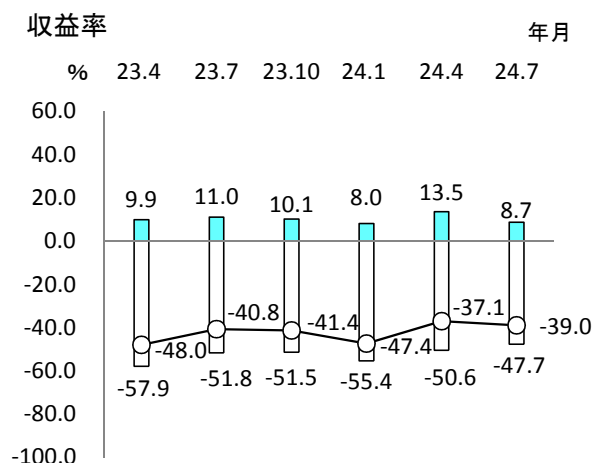
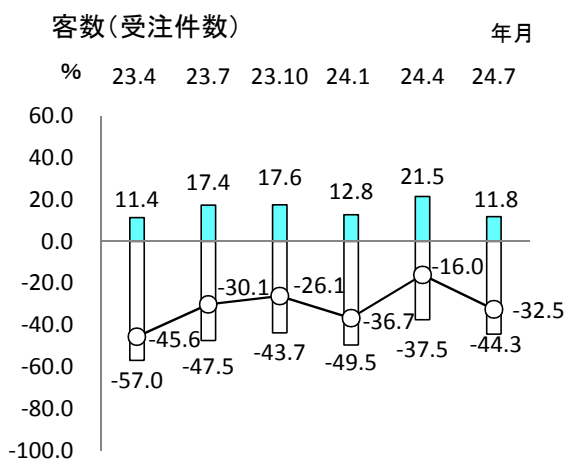
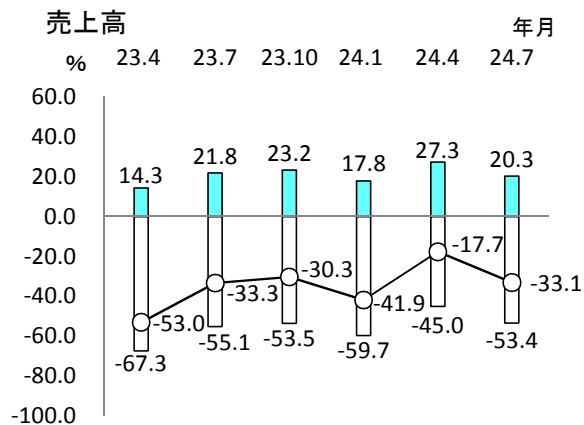
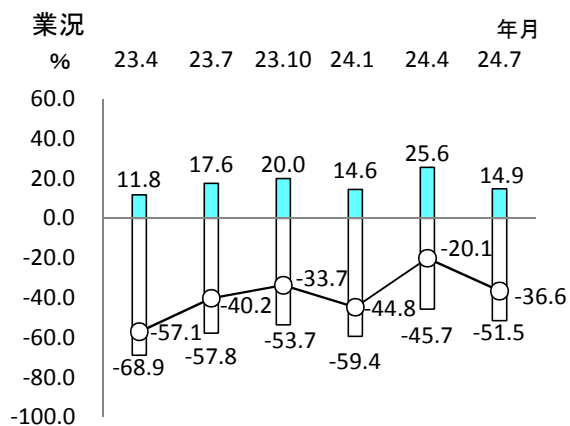


2 非製造業

※平成23年度の調査から、従来の「製造業」に、「建設業」、「情報サービス業」、「小売業・卸売業」、「飲食業、宿泊業」を加えて実施しています。

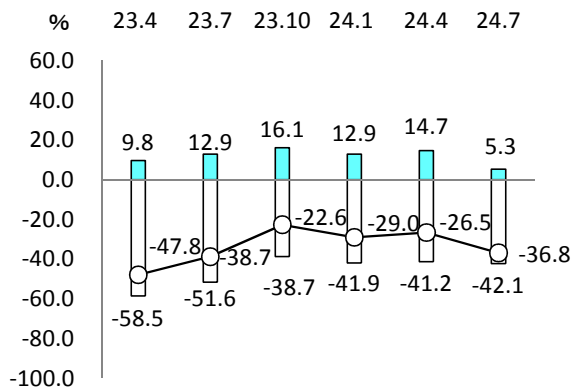
(1) 前年同期に比べて

ア 非製造業全体

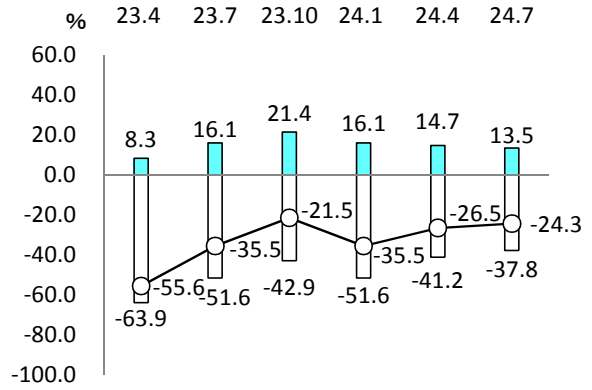


イ 建設業

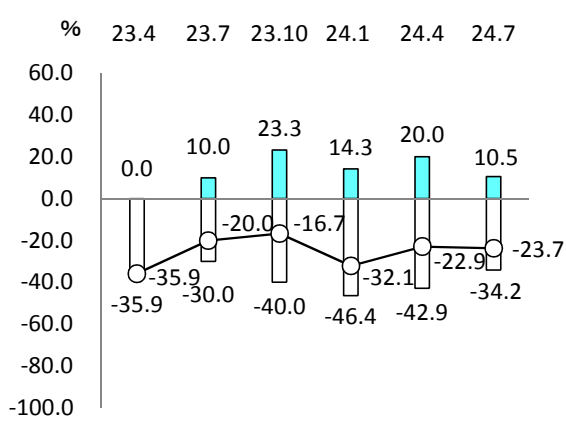
業況



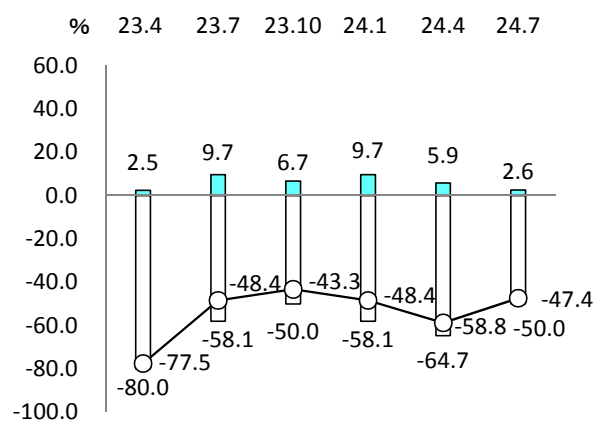
売上高



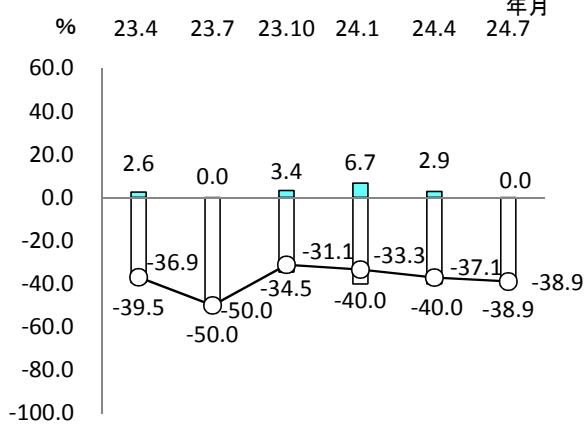
客数(受件数)



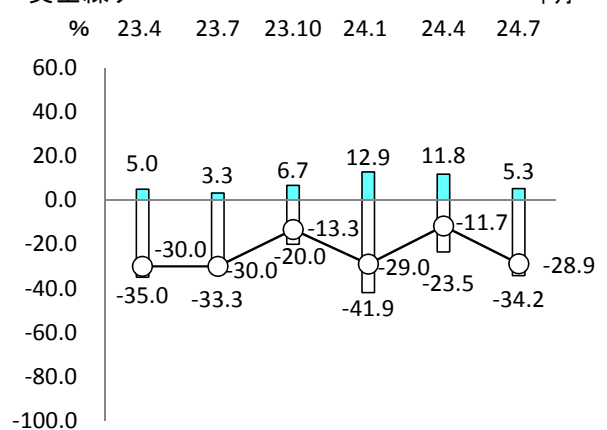
収益率



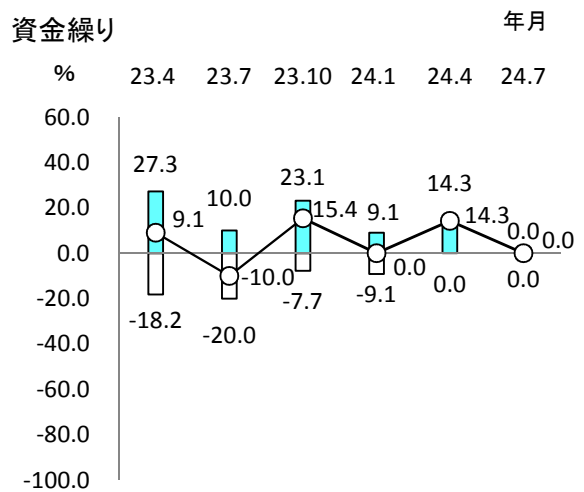
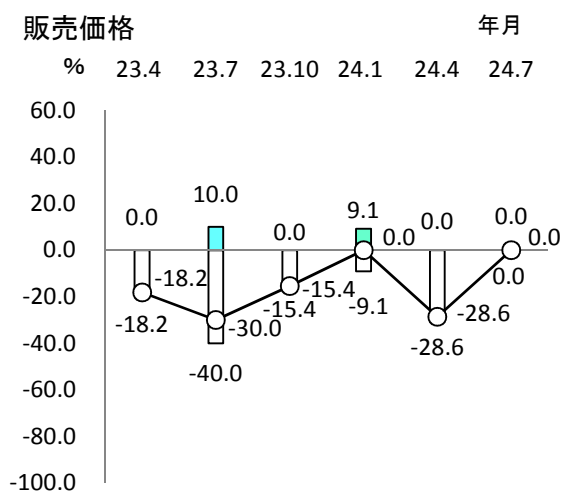
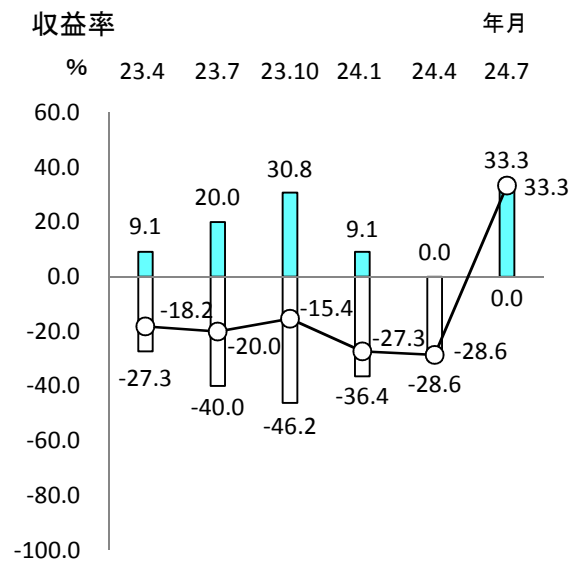
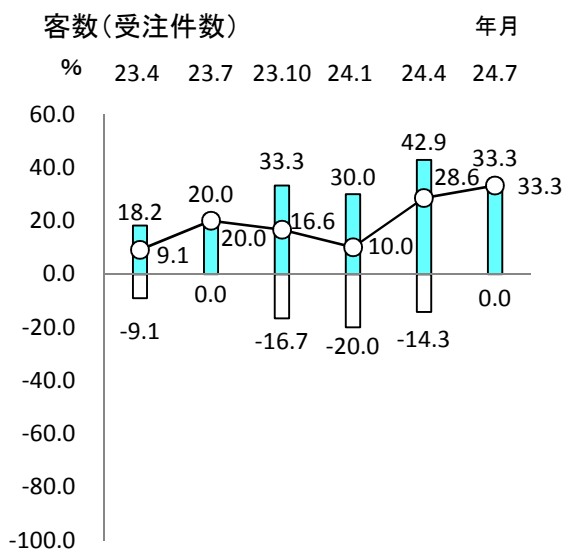
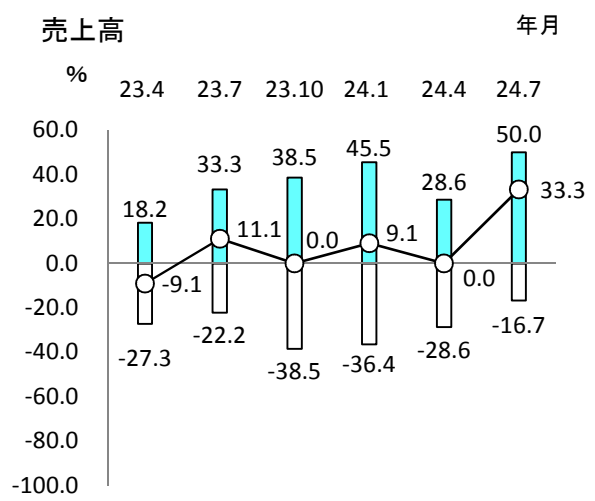
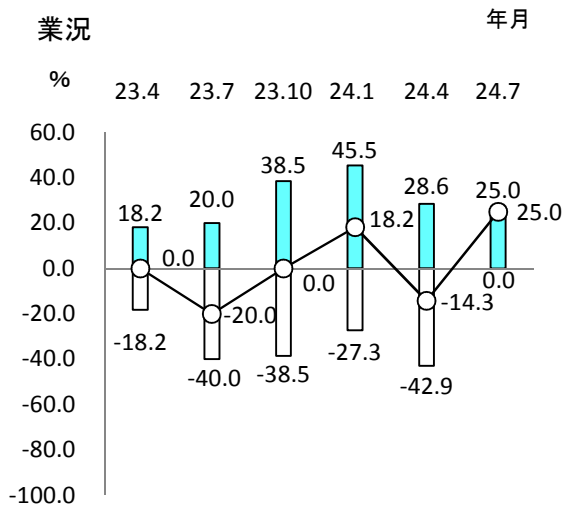
販売価格



資金繰り

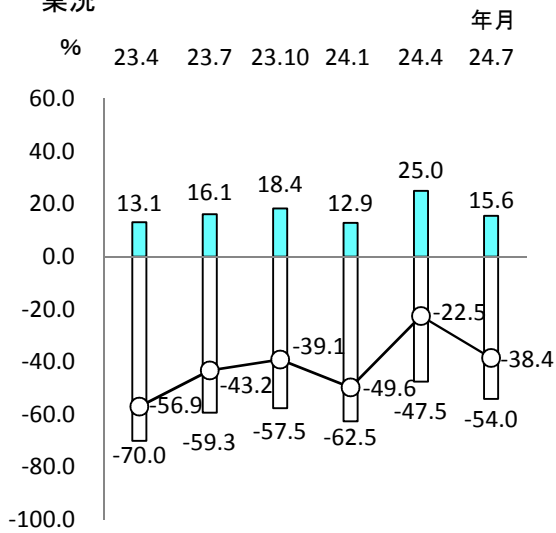


ウ 情報サービス業

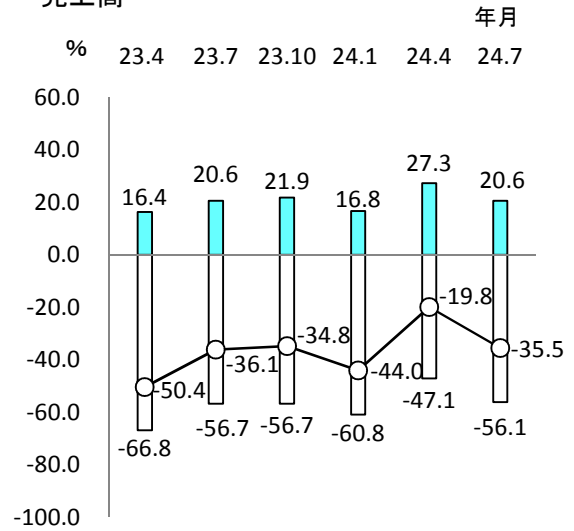


工 小売業・卸売業

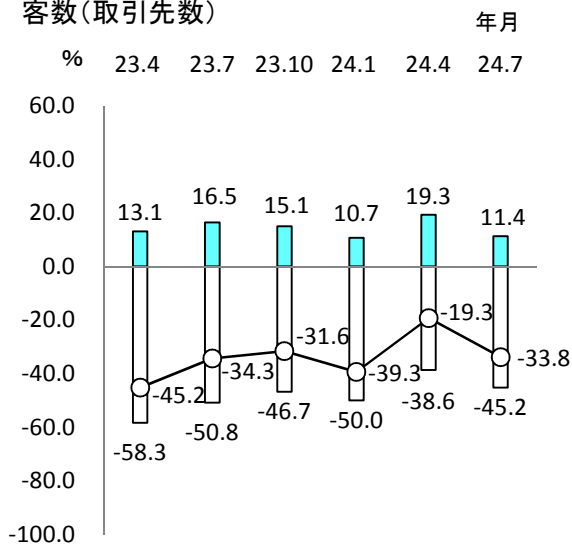
業況



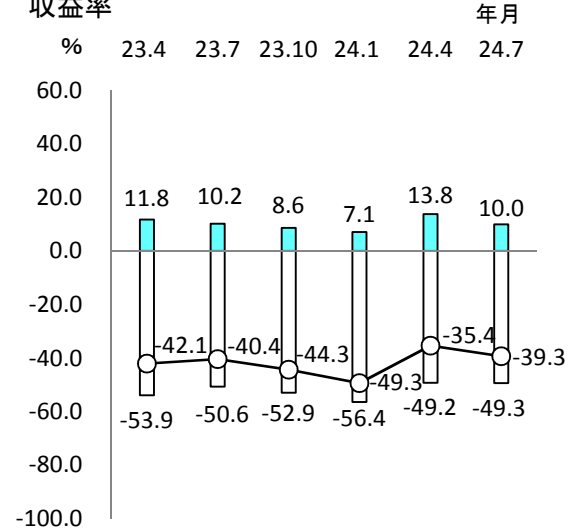
売上高



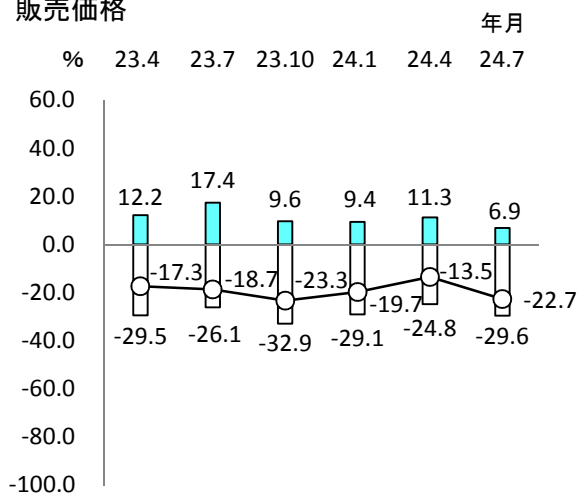
客数(取引先数)



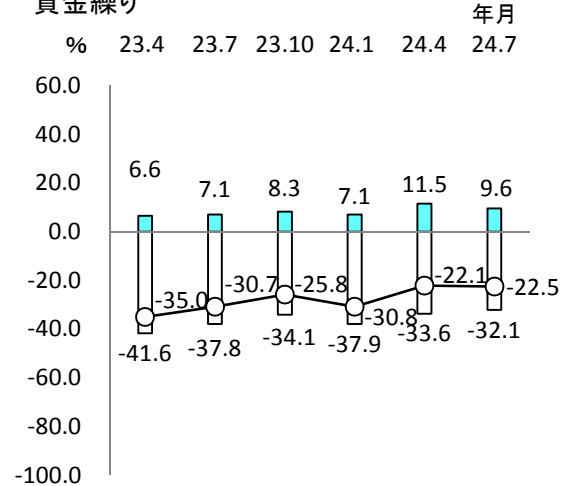
収益率



販売価格

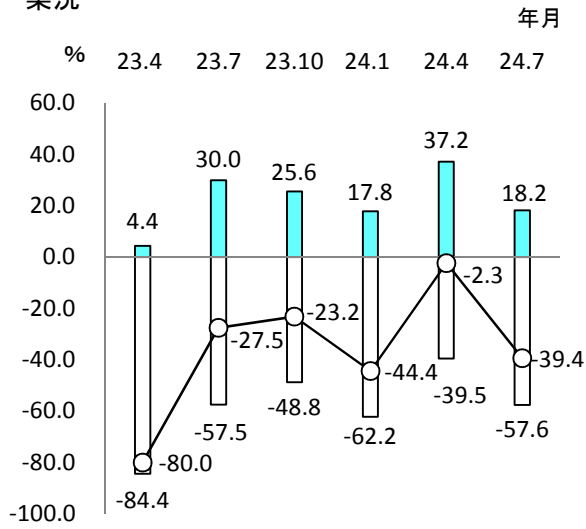


資金繰り

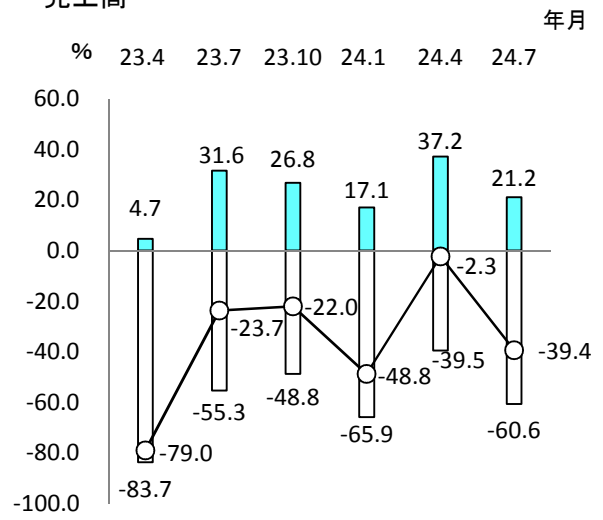


才 飲食業・宿泊業

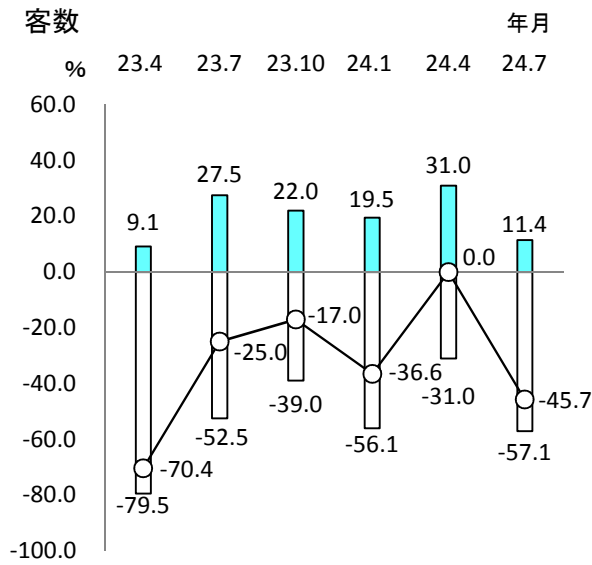
業況



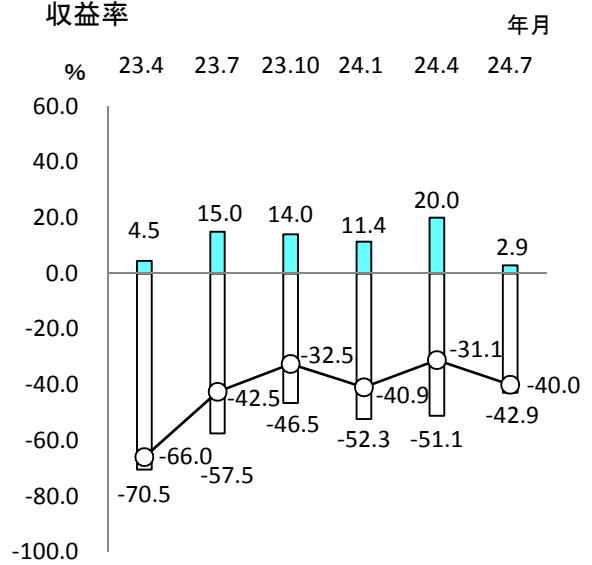
売上高



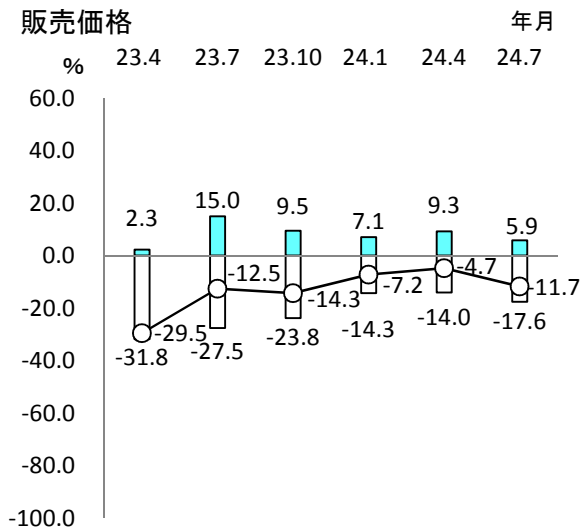
客数



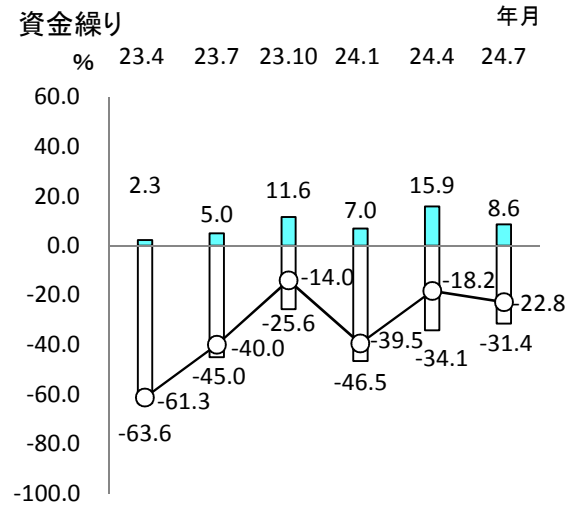
収益率



販売価格



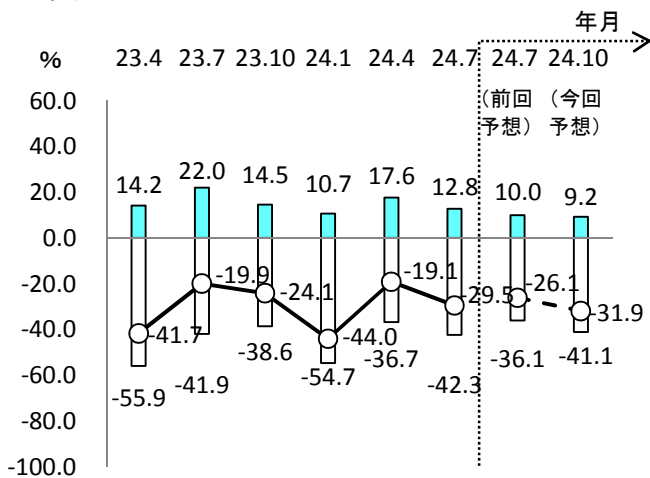
資金繰り



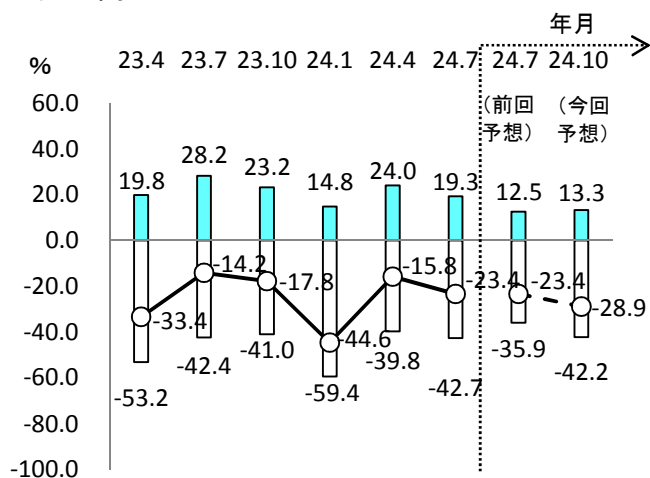
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

ア 非製造業全体

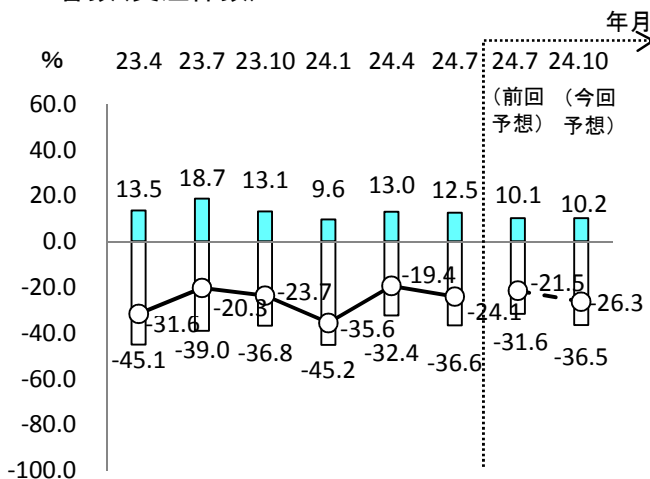
業況



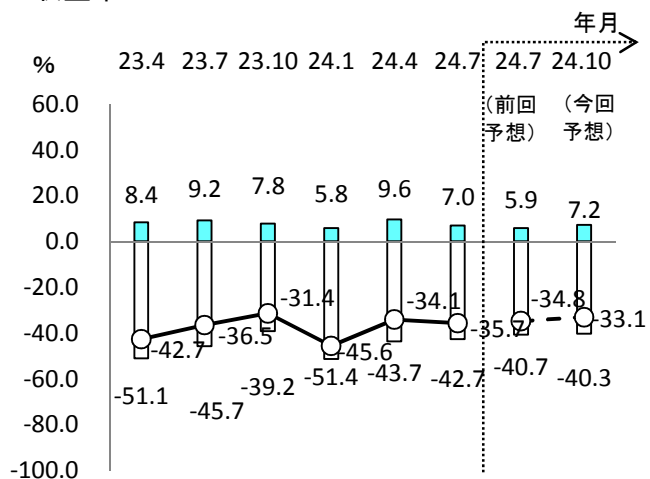
売上高



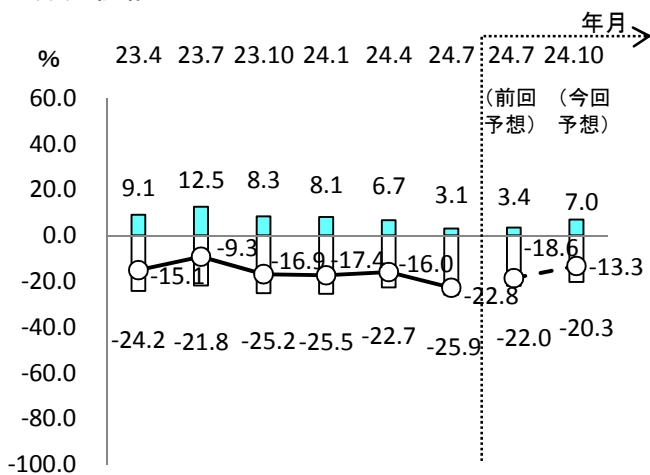
客数(受注件数)



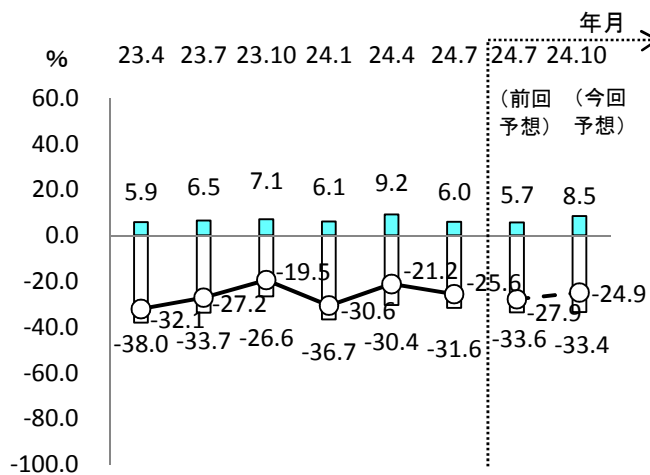
収益率



販売価格

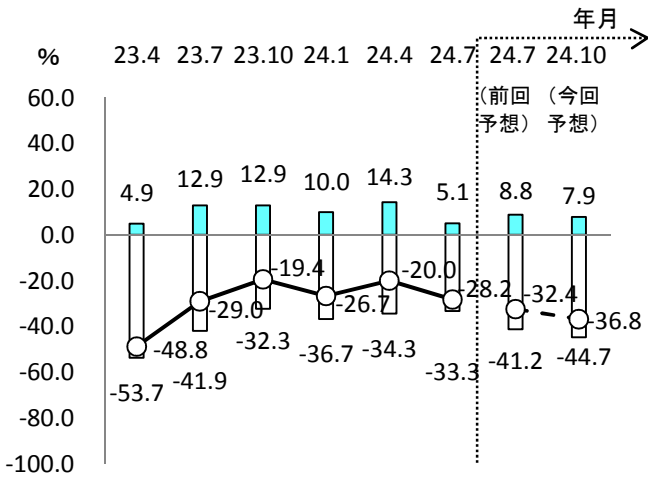


資金繰り

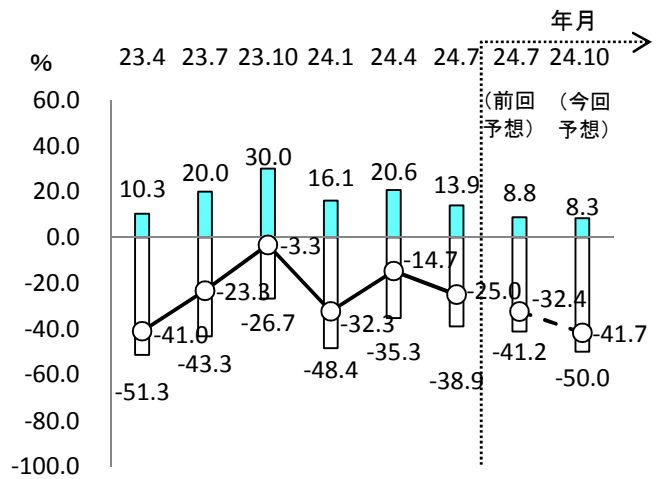


イ 建設業

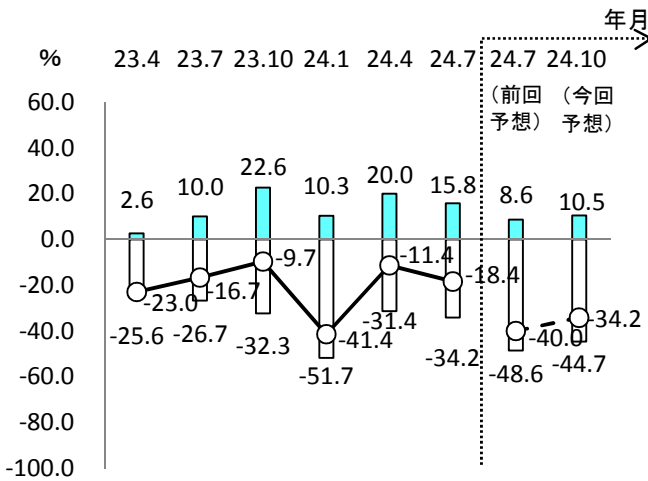
業況



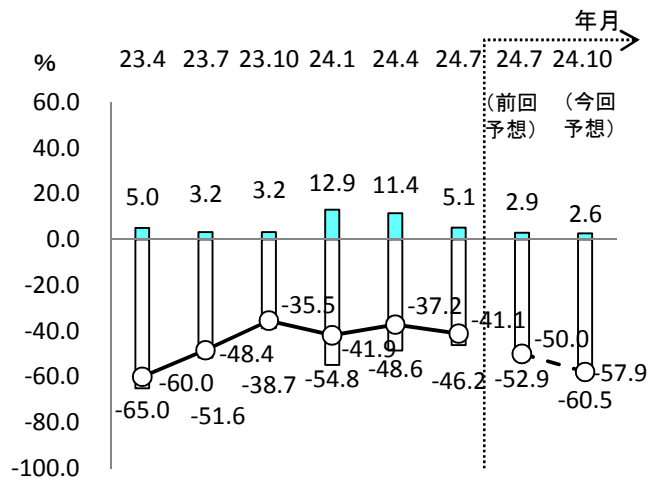
売上高



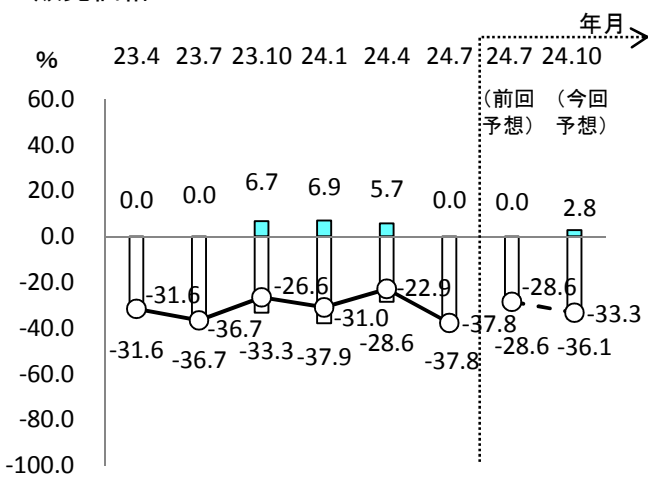
客数(受注件数)



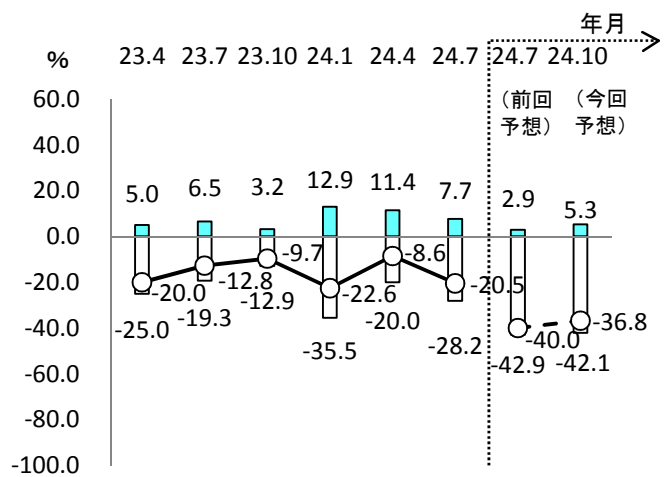
収益率



販売価格

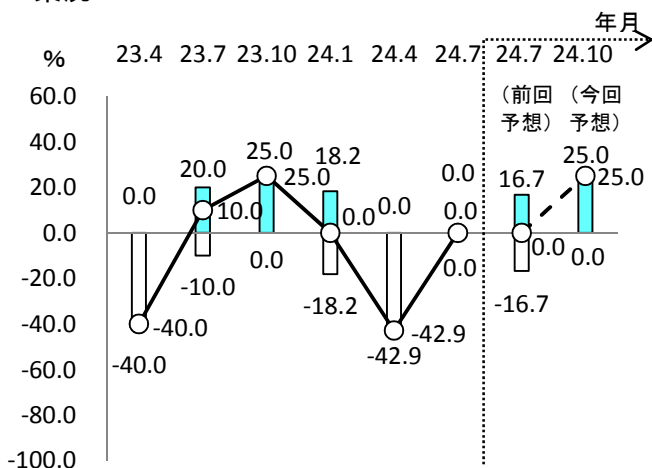


資金繰り

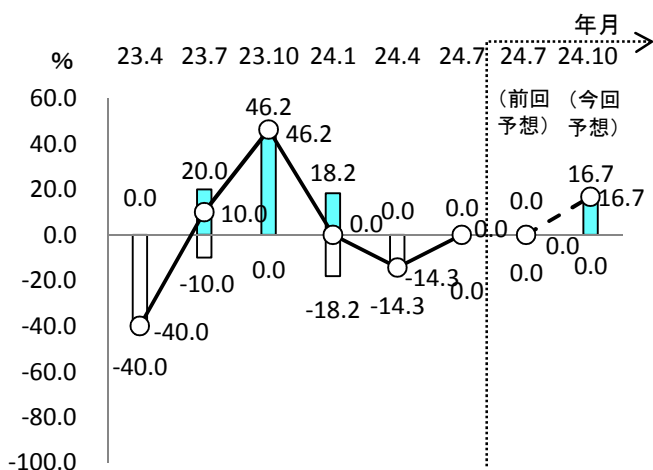


ウ 情報サービス業

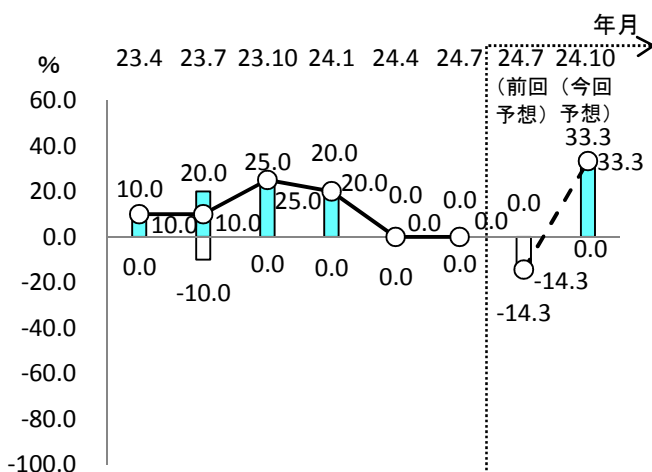
業況



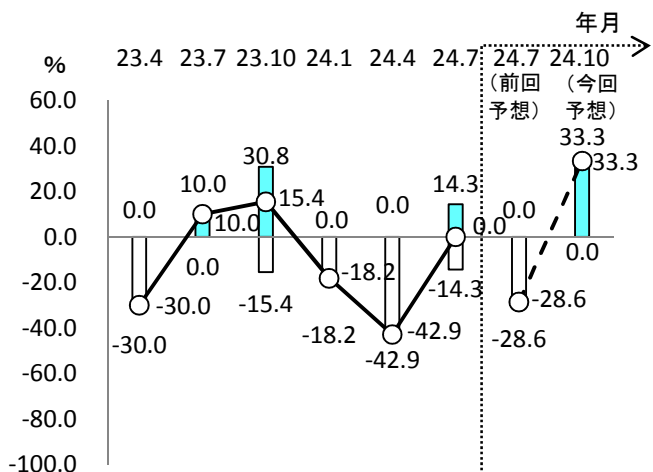
売上高



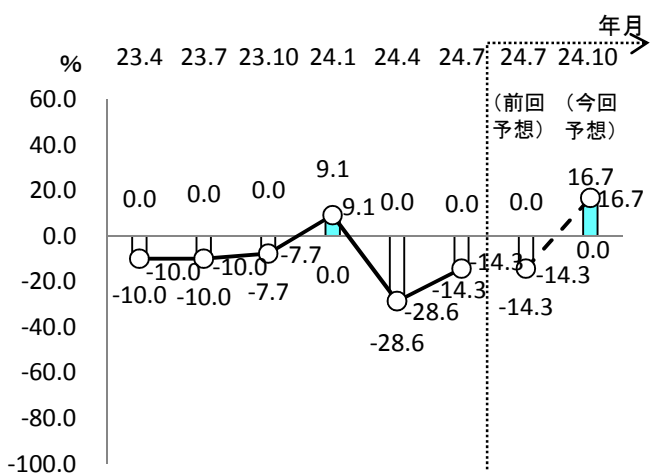
客数(受注件数)



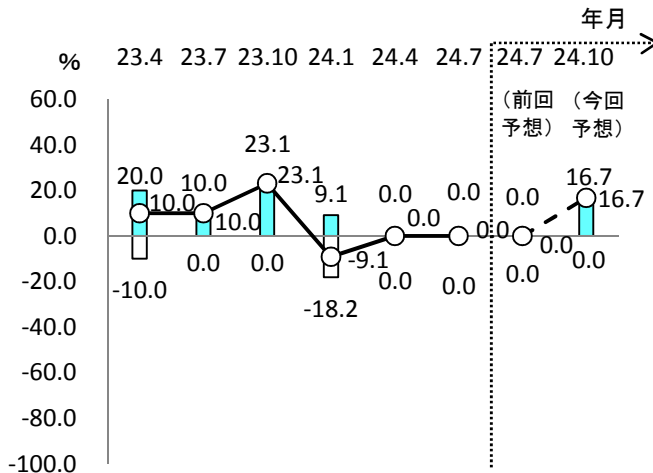
収益率



販売価格

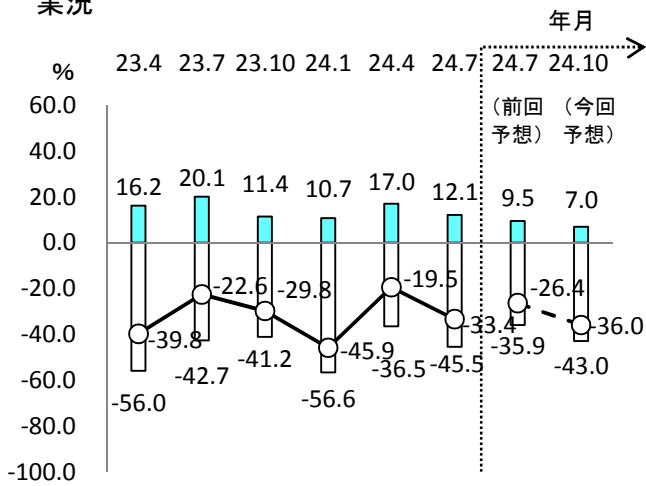


資金繰り

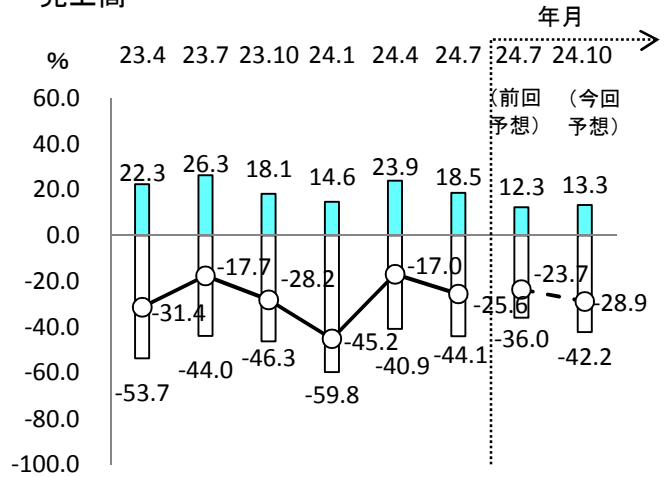


工 小売業・卸売業

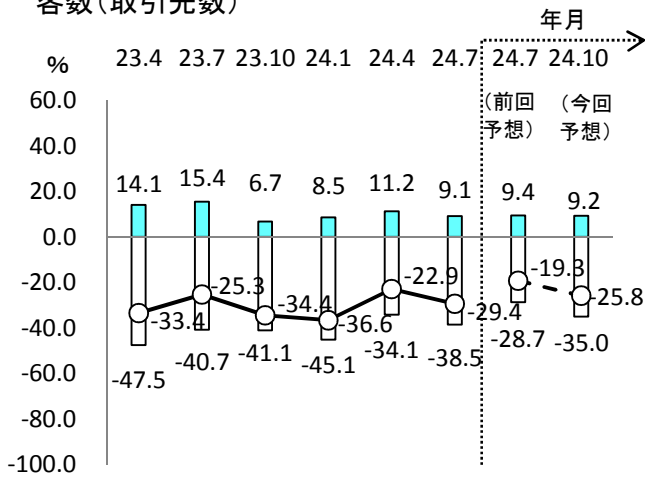
業況



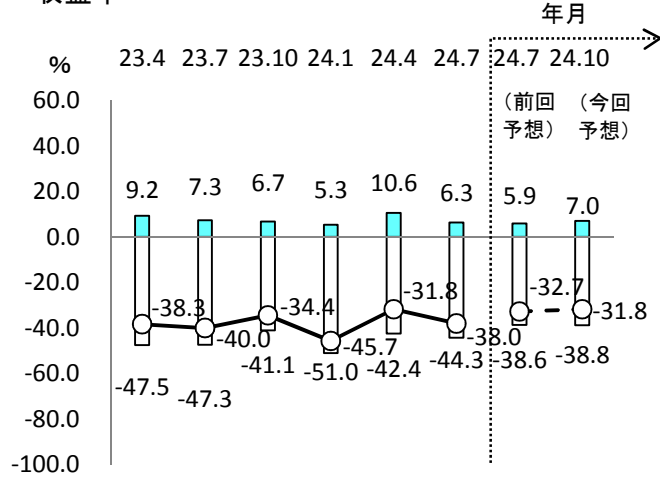
売上高



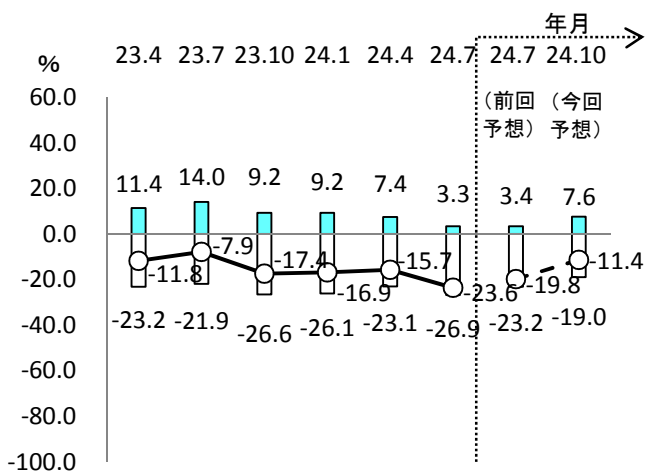
客数(取引先数)



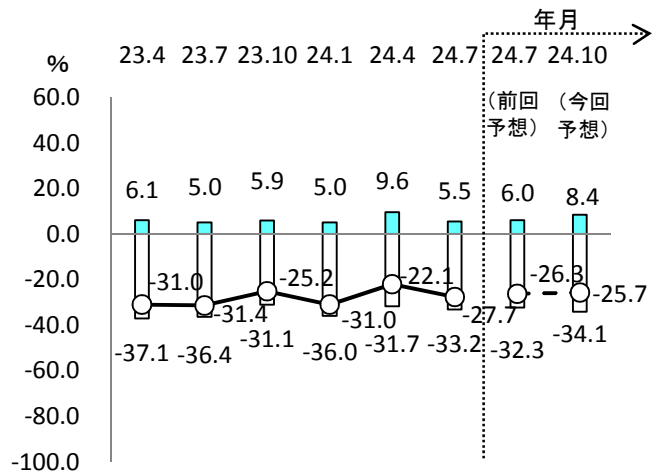
収益率



販売価格

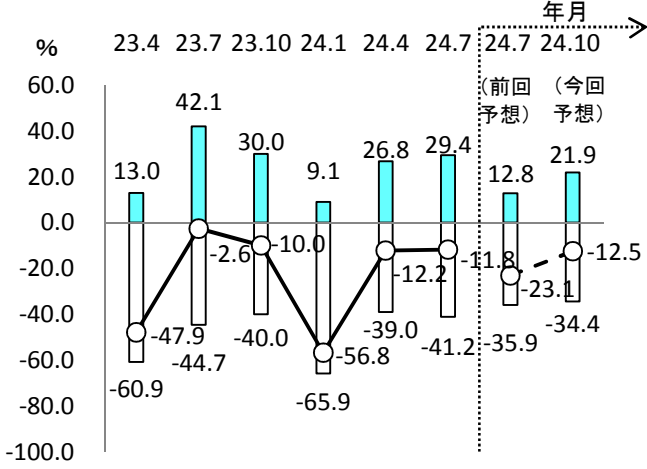


資金繰り

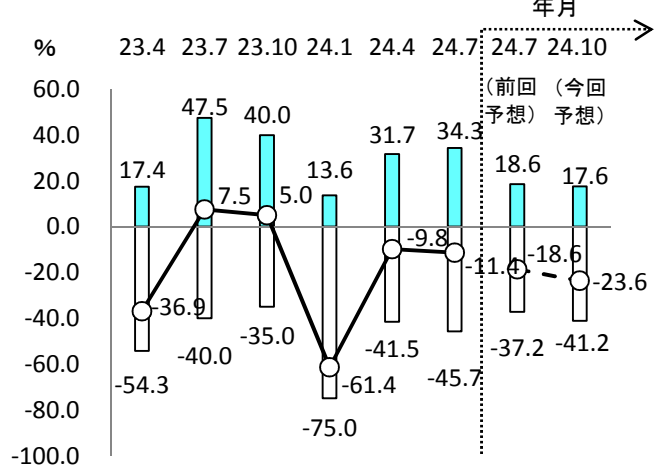


才 飲食業・宿泊業

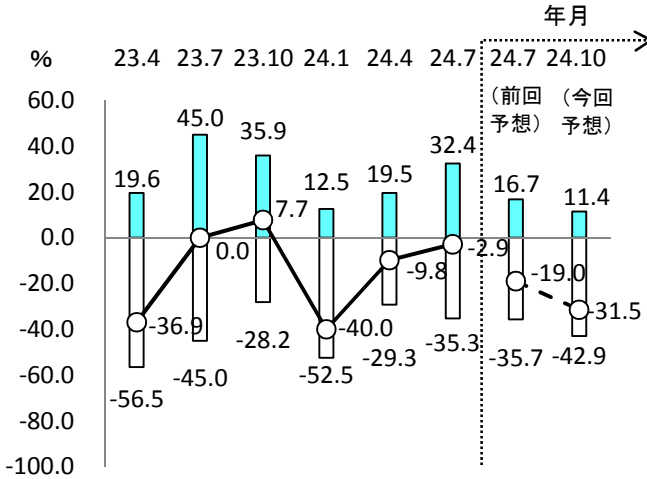
業況



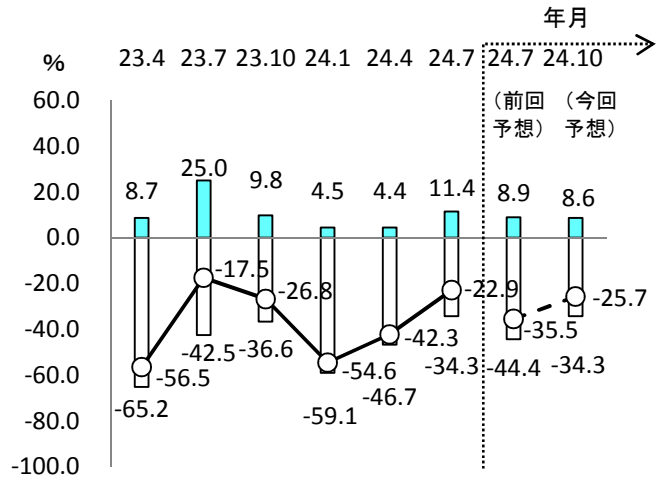
売上高



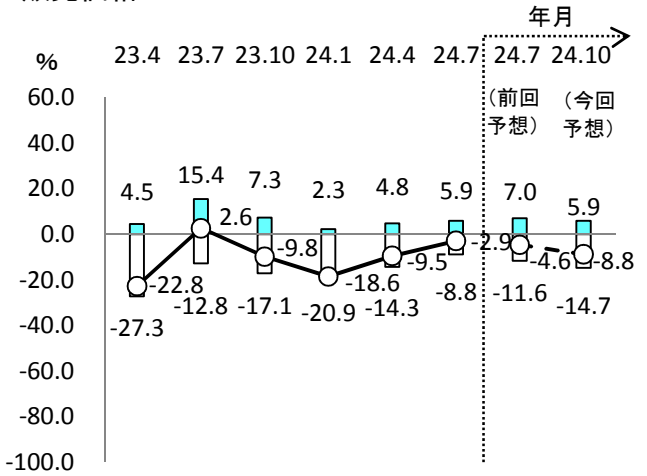
客数



収益率



販売価格



資金繰り

